

NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会 会報

No.179 2007年11月発行
NPO法人高齢社会をよくする女性の会
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-1
第31宮庭マンション802号室
TEL. 03-3356-3564
FAX. 03-3355-6427
郵便振替 00100-0-79477



「追いかけるぞ!」と年金追及を呼びかける樋口理事長

— 目 次 —

10月例会 あきらめないぞ 年金
～今こそ知ろう年金の本質～ 岩瀬達哉…………… 1
目標10万人!
わが会、初の署名運動を成功させましょう…………… 5
リレー・エッセイ⑩中尾敦子…………… 6
男・老いを語る⑬竹田憲司…………… 7
本の紹介・事務局だより…………… 8

年金官僚動かさず
実は私も学生時代の年金が消えていま
した。親は掛け金を払っているといっ
ますので調べなければと思っています。
皆さんもぜひお調べになることを勧め
します。それしか自衛の手段がないとい
うことです。

5000万件という消えた年金の問題
があきらまかになったのは今年の2月です
が、なぜわかったかという昨年6月、
首相官邸は厚労省に5000万件につ
いて 精査を命じたが年金官僚はまった
く動きませんでした。それで5月末に官

「消えた年金の問題は騒いでもらって本当によかったと思います。私の夫も旧姓
の分を救われました。果たして年金問題は解決できるのか。わが会も力をつ
くしたいと思います」沖藤さんからの挨拶の後、一人暮らしの高齢期の女性は
年金と二人づれ、年金の問題は女性問題であり、岩瀬さんはジャーナリストと
して消えた年金問題に火をつけた方、と樋口理事長より講師紹介。

講 師 岩 瀬 達 哉 (ジャーナリスト)
司 会 沖 藤 典 子 (本会副理事長)

あきらめないぞ 年金 ～今こそ知ろう年金の本質～

二〇〇七年十月二三日(火)

於・四谷・主婦会館「プラザエフ」

◆十月例会◆



「国民の関心と年金制度の向上は正比例の関係にある」
と岩瀬氏

邸の中にチームを立ちあげ、6月に年金記録問題検証委員会を設置し、また第三者委員会を設けました。第三者委員会は社会保険庁に記録がなくても本人の申し出に対応する機関です。そのときに官邸から声をかけられて、僕は一貫して野党的立場で記事を書いていました。年金問題に与野党は関係ないと請われて委員になりました。参議院選の前に記録問題の解決を公約し、5000万件の処理として来年3月を目途に名寄せを終えるとしたのはご存知の通りです。そのほか

にもコンピュータにはいついていない1430万件、船員保険の36万件については来年5月が目途です。

なぜ記録が不備のまま放置されたのか日本の年金制度の歴史に關係しています。歴史的な経緯と構造がまったく伝えられていない。花沢初代年金課長が「厚生年金保険制度回顧録」のなかでいつているのですが、昭和16年成立の労働者年金保険法、現在の厚生年金の歴史的背景は戦費調達にあった。それゆえ掛け金を取ることに熱心でも将来にそなえ記録を完備することはおざなりにされた。このときに福祉施設が設置できるといふことも付加されています。昭和42年に「業務課十年の歩み」という座談会で当時の網野年金保険部長が記録に関して顕在化するとトラブルの元になるだろうといっています。その後40年間何も手を打ってこなかったというわけです。

いくら中抜きされているか

先の「厚生年金保険制度回顧録」には年金を払うのは先のことだから今のうち

にどんだん使ってしまったも構わないとありますが、よく知られている例では保養施設グリーンピアの件です。年金の積立金は当時の財政投融资資金に繰り入れられてそこから1800億円を借りて建設、利子を含めて大蔵省に返済した金額は3728億円にのぼりました。売却価格は僅かに48億円、回収率は1・3%です。国民年金制度がスタートした昭和36年以降平成16年までの43年間で年金積立金管理運用独立行政法人ほか天下り先への補助金などの流用総額は約6兆7800億円もの巨額にのぼっています。3、4年前に調べたところでは2515名の天下り官僚を掛け金で養っていることが判明しました。キャリア組みで再就職6年で報酬は3億円くらい、ノンキャリアでも年間800万くらいだと思えます。きちんと仕事をしてくれていればまだしも、海外の年金制度調査などといいつつヨーロッパの鉄道めぐりなどをしていく。民主党が年金掛け金流用禁止法案を今国会に提出していますがぜひ成立させてほしいものです。

掛け金の中抜きをやめればいくら年金額がアップするか

未だに年間1700億円を抜いています。事務費に1000億、福祉施設費に700億が当てられています。これらは以前はゴルフボールやマッサージ器などにも使われてこれが批判されると、今はパンフレットの作成などに支出されている。監修料がバックされるわけですが、国民に撒く手段がないので作ることが自己目的化していて、効果的な使い方になっていない。福祉施設費も建物のようなハードのハコモノでなくソフトのサービスと拡大解釈されている。

この掛け金の中抜きをやめて年金給付額に戻せば給付額はいくらアップするか。試算ですが、年額で国民年金で約3600円、厚生年金では約9000円ほど給付額が上がります。一昨年度から年金積立金の一部取り崩しがされています。過去の年金住宅融資事業で貸付金が回収できず焦げ付きが生じていて、事業の失敗を穴埋めするためです。こうした積立金の取り崩し分も含めた試算額で

は、給付額のアップは2005年度で国民年金では約1万4000円、厚生年金は約19万円にもなります。

海外では

海外の状況についてふれておきます。

フランスでも最近積み立て制度を始めますが、それは2040年に給付のピークをむかえるそのために備えるのであって、日本の積立金制度は参考にならないといっています。イギリスは保険料財源を事務費に使っています。しかし毎年何にどれだけ使ったかがきちんと報告されて、顧客満足度が上がったかどうか民間調査会社が入ってきちんと調べ報告されています。感心したのは点字版や音声テープもあり、無料で送ってくれます。制度に関心を持つ人によく理解してもらおうのが結局は制度を支えていく上で安上がりという考えが基本にあります。

年金制度をよくするために

日本の政府は国会で法案を通してしまえばあとは国民がどう思おうと関係ない

と思っています。借金を取り立てるのに証文がないと取れないでしょう、といったのが社会保険庁の現状です。ですから情報をどんどん公開させて制度への理解を深めて言っていく、けっしてお上まかせにしないことです。制度の運営経費を見直す必要もあります。例えばコンピュータ経費は総額約1兆4000億にのぼりますが、年金掛け金からの流用が約80%です。それが日立やNTTデータにほぼ独占されています。契約総額が大きすぎますし、他の民間企業も含めて契約の見直しが必要です。天下りの問題も絡んでいるでしょう。

年金制度の問題はほぼ出尽くしました。ですから問題をひとつ一つ解決していくことにより、いい制度にしていけると思います。理想的な年金制度は何かとえば、ただ年金があるということだけでは駄目で、労働を終えた後の健康で文化的な生活ができるようにすること。同じ少子高齢社会の海外でできてなぜ日本はできないのか。無駄遣いや中抜きという問題だけでなく、国がもっと力を入れ

て支えることが必要です。

今回これだけ年金問題が盛り上がったのは国会で議論するだけではなく、国民の声が大きかったからです。制度を立て直すようやくの出発点に来たということ

です。

Q 国のサポートといわれましたが、財源の問題として消費税については。

A 国民年金の保険料納付率は払っている人だけを見れば49%でもうもたない。無年金者を防ぐには消費税を福祉目的税にして最低保障年金を考える必要はあると思います。そのほかにドイツでは化石燃料にエコ税をかけてそれを年金にまわっています。フランスは政府が保有する株を売って年金財源に組み入れていきます。フランスの厚生年金のモデル年金受給額は現役最後の10年間の平均給与額の70%、ドイツは62%、いずれも個人ベースです。日本が何でこんなに差があるのかまったくわからない。

Q 3年前に父が亡くなりましたが、生前年金が少ないといっていました。母が

遺族年金を受けていますので調べたほうがいいでしょうか。

A 社会保険庁にすぐ行って全記録を出してもらって確かめた方がいいです。

Q 小さい事業所を転々としていて無年金とあきらめているのですが。

A ぜひ調べることをお勧めします。25年に足りないと思ってもアルバイト時代に保険料をかけてもらっていた方の例もありました。なぜ国民年金にはいらないかというと、納付率の低下で制度が破綻すると危機を煽ったから。イギリスでは低所得者は2000円の保険料で将来80万円くらいの給付額を受け取れる。制度を維持する工夫がされています。

Q 国民年金で60歳を過ぎてさらに保険料を払えば多く受け取れるとききますが、それをお聞きしたくて山形から来ました。

A 確かに受給率はよくなりますがこればかりは人により寿命がちがいますので。

Q 人口構成がピラミッド型でなくなつた今、世代間扶養の賦課方式でもたなく

なっているのは各国に共通していると思います。日本が破綻していて海外で維持できているということはどういうことなのでしょう。海外も賦課方式だと思いますが、構造的にどう考えられるのでしょうか。

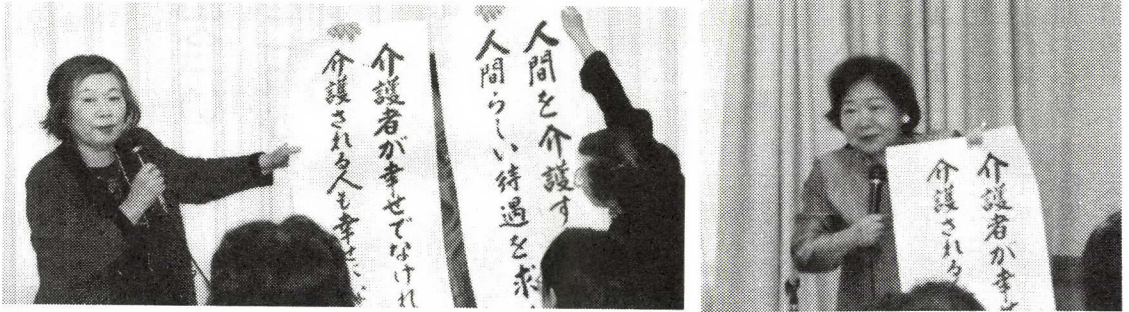
A どの国も少子高齢化は共通していませんし、保険料もそう変わらない。社会全体がどうなのか。年金官僚だけでなく総体の天下りの問題。フランスは子供を3人生むとその女性の年金が増える、年金制度に貢献したという考え方。女性が積極的に働けるように保育所を増やす。これも支え手を増やすことにつながる。制度をスリムにするということもある。ドイツは支払準備金を1か月分から半月に減らしました。日本は5年です。半月分で足りないときは政府が貸し付けます。総体として考える必要があると思います。

*「追いかけるぞ年金」と樋口理事長より締めくくりの言葉、沢山の質問が出席者活発に講演会を終えました。

目標10万人！

わが会、初の署名運動を成功させましょう

- 人間を介護する人に人間らしい待遇を求めます
- 介護する人が幸せでなければ介護される人も幸せ
になれません



静岡大会延べ4,000人の皆様とともに決議したように、今私たちは、介護人材確保緊急措置法案制定のための署名運動を始めています。

平均賃金で一般産業と10万円以上、初任給で3万～5万円も差があるまさに「格差職種」になりつつある介護職。来年度の専門学校の入学予定者が定員の1割というきびしい声が上がっています。せめて平均で3万円上乗せを——人たるに値する労働として最低の条件ではないでしょうか。

介護職員の離転職率は、あらゆる業界の中で飲食業について第2位です。離転職者の8割は3年以内ですから、このままでは介護の仕事に必要な経験の蓄積ができません。

介護保険は、老いを支えるという人間しかしない仕事を、社会全体で支え合い励まし合うために生まれました。介護家族の負担は今も大きいものがありますが、多少とも心が明るくなったことは確かでしょう。全国の地域の風景を一変するほどに介護の事業所が増え、働く人々が増え、介護は社会の表通りに定着してきました。

その介護保険制度が、担い手である人材の面から今、崩壊の危機に瀕しています。介護保険のスタート時は不況の真っ只中、かつすべての業種で非正規雇用化が進行していました。介護職員の賃金はもともと低目であり、立ち場は不安定、働き方は不規則でした。それでも21世紀長寿社会で人間の最後の尊厳を支える仕事に、志をもった若者・中高年の女性が数多く参加してきました。

そして今、景気の回復と共に、反比例して介護報酬は切り下げられ、介護職員の待遇の悪さは、本来介護という仕事を持つ魅力を失わせています。ものには限度があります。私たちは自分と家族の介護の質を保ち、かつ向上させてほしいと願っています。だれかが言わなくてはと立ち上がりました。

どうぞ人間の安全保障というべき介護の質の向上のためにご署名のほどお願い申し上げます。

NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長 樋口 恵子

中尾敦子

私と高齢社会の出会い

……これまで、これから



人生の第3期計画は夫を見送るという想定外の出来事で水泡に帰した。

20年昔、高齢期を迎えた両親は、悠々自適の2人暮らしだった。大学構内で父が倒れ均衡が崩れ、どういうわけか私が同居する事になった。当時珍しいバリアフリーや床暖房を備えた住宅を建て、車椅子の父、リウマチ、胃ガン手術の母、受験期を迎える娘と息子と夫の6人暮らしが始まった。福祉サービスは享受できず、介護は女が担って当然の現実に出会い、高齢問題・社会福祉へのまなざしが開かれた。経済学者であった父が疎ましく、自然科学こそが近代化を推進する力と信じ結婚で失った道に戻りたい願望に

ずっと縛られていた。荷物と共にやってきたのは、父母だけでなく、父母をとりまく人、社会が眼前に山積みされた。爾来、自前で創り出す「介護と看護の社会化」の道は険しく、大きな御節介、余分な親切だけが親類・係累からも届いた。手探りでの高齢問題へアプローチと実践は「大阪の会」の誕生と重なった。介護を抱えながら、設立大会、全国大会と40代だったから、夫が側面にいたから、当事者である母が「こんな世の中に替わつたみたい、私はモデルですが」と不承不承でも容認してくれたからこそ、高齢問題への取り組みは拡がり、大阪の会も大きく成長していった。

車椅子で平穩に過ごしていた父は年賀状を書く母の傍らで突然に呼吸を止め、私が見つけるまで横にいた母さえ気付かない終末であった。父の死後、胃ガン、リウマチから復活した母は介護保険制度の恩恵を享受し、在宅と施設を行き来しながら介護保険の先鞭をきった。彼女も施設の喫茶ルームで私と昼下がりのお茶をしながら人生を終えた。

終末に立ち会い、目前で逝る機会が少なくなつた現代、臨終に立ち会い、生命を送り出す厳粛な体験・作業を重ねたのは幸運なのだろうか。両親からの遺産は元禄期以来続くなにわの私塾「心学明誠舎」、戦友として時代を共有し続けた夫からの遺産は「でかしたぞ」の言葉と、お一人様の老後にこぎ出す追い風に変身した夫の「千の風」なのだろう。

この贈り物を体感しつつ、自身の高齢問題をひもとくこれからを送りたい。

プロフィール

京都大学大学院教育科学科修士修了。社団法人「心学明誠舎」理事・事務局長。NPO法人「高齢社会をよくする女性の会大阪」副代表。吹田市福祉審議会・男女共同審議会委員など。



思い当たるフシが……

たけだ けんじ
竹田 憲司 (兵庫県高齢者放送大学長)

1951年1月兵庫県生まれ。甲南大学卒業後ラジオ関西に入社し、主に報道・制作畑を歩む。3年前、県からの要請で兵庫県高齢者放送大学（学生数3,200人、平均年齢75.5歳）に出向。その後転籍して学長となる。

トホホホ……。何ゆえに私が老いを語らねばならないの、と思った。：が、思い当たるフシがないわけでもない。

まずは物忘れ。しかも単純に忘れるレベルなどはとつくに通り過ぎ、忘れたことさえ忘れてしまう始末。嫌なことだけは決して忘れないからなおたちが悪い。

何かにつけ半畳を入れたくなるのも「老い」の証しか。鼻や舌にピアスをした若者に「オタクは牛ですか」と、また「こちらビールになります」などとのたまう居酒屋の店員には「見たら分かりますわ」と、つい突っ込みたくなるから我ながら困ったものだ。

去年、ラジオ講座の録音で某脳科学者のお宅に伺った時のこと。この日のテーマは「脳を刺激する」で、80歳近い先生のお話を要約すると「とにかく読書とスポーツに限る」というものであった。収録を終えて世間話をしていた際に、お茶を出してくれた娘さんと思しき女性のこととお訊ねすると、「恥ずかしながら……」と口ごもる。どうやら教え子と再婚されたようで、「そりゃあこんなに若くて美

人の嫁をもらえば脳も刺激するわサ」と「またもや心の中で半畳を入れた次第。いや、これは半畳というよりほぼ妬みに近い。他人を羨んだりしないことには自信があつたが怪しくなってきた。

更に、今年8月、「甲府市の保育園で女性保育士が指しゃぶりをやめさせようと当時3ヶ月の男子園児の指にカラシを塗っていたことが分かり、県が改善を指導した」という全国ネットのニュースに啞然とした。指しゃぶりにカラシというのは「おばあちゃんの知恵袋」だ。仕事熱心な保育士をよつてたかつて糾弾するようなこととはとても思えないし、それ以前にニュースにするような話ではあるまい。腹が立つてTV局に電話してしまつた。かつて放送局に勤務していた折、「いちいち抗議してくるなよ！」と心の底から思っていただけに、正に天唾もの。このほか目覚めが早い、躰が重い、見えにくい、ますます強情に——等と指折り数えたら「あるある大辞典」状態。正に「その域」に入っていることを認めざるを得ない今日この頃であります。

本の紹介

管理栄養士が考案 シルバー世代に贈る

「元気で 長生き かんたんレシピ」

著者 へのみやグループ

(代表) 原田佳子

歳をとると料理作りがおっくうに、そして栄養不足から病気を引き起こしたり、持病が悪化したり：

見ると思わず作りたくなる！

長年病院や高齢者施設で腕を振るってきた管理栄養士の知恵とアイディアがいっぱい。高齢者の目線で書かれています。本の特徴

- 読みやすい大きな字
- 初めての人もわかりやすい作り方
- 日常の食材を使用
- 食卓の基本の説明と写真
- 食事の前のお口の体操を図示
- 手軽に活用できる栄養量一覧表

高齢者はもちろん、高齢者医療・福祉関係の方々にも役に立つ内容です。

1部1000円(本体953円)

申込み先 (株)SKYコーポレーション

TEL 082(815)8050

「今から考える終の棲み家」

大沢久子著

平凡社刊 七二〇円十税

そろそろ「老後」が気になる世代になりつつあっても、具体的にそれをイメージするのはなかなか難しいもの。

本書は、老人ホームでの暮らし、自宅で最後まで暮らす方法、今話題のグループリビングなど、「老後をどこで、どう暮らすか」を考えるものです。豊富な事例やエピソードは、どんな背景を持った人が、どんな理由でどんな暮らしを選択したのかを伝えてくれます。誰もが戸惑う「初めての老後」。年金制度の行方など不安が多い中で、「みんな、どうしているのかしら」という疑問に答える一冊です。

もちろん、さまざまな事例・エピソードは、体の弱ってきた親のホームの入所を考える人、遠く離れて暮らす親が心配な人など、「自分のことよりも先に、親が心配」という方にとっても、参考になるはずです。(平凡社新書編集部 三宅智恵巴・記)

事務局だより

11月のお酉さまを迎えると、途端に気まじりが増します。お変わりございませんか。

*11月例会、11月14日(木)「フィリピンの介護人材養成視察」報告会のゲストは堀井奈津子さん(厚労省福祉人材確保対策室長)です。まだお席ありますので。

*会報5ページで理事長からお願している署名活動にご協力ください。用紙をおひとり3枚宛お入れいたします(もつと必要な方は事務局まで)。

ご家族全員に、ご賛同いただけましたらご近所の皆様にも署名をもらってください。これこそ「数があるを言う」証です。(締め切り11月30日)

*12月9日(日)の歳末名物「女たちの討ち入りシンポ」にもぜひご参加ください。今年は大規模な集会を予定しており、例年より深刻で過激で楽しい討ち入りとなりそうです。午後2時開会。皆様のお力でぜひ成功させてくださいませ。

(新井倭久子)